

令和8年4月24日付けでカルタヘナ法に基づき承認した遺伝子組換え農作物(第一種使用規程)

作物名	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					パブリックコメント回答掲載日	承認日	(参考) 他の安全性の確認状況	
		隔離ほ場での試験等	栽培	食用	飼料用	観賞用			食品安全性(食品衛生法)	飼料安全性(飼料安全法)
ダイズ	線虫抵抗性及び4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤耐性ダイズ( <i>cry14Ab-1.b</i> , <i>hppdPf-4Pa</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.) (GMB151, OECD UI: BCS-GM151-6) 【BASFジャパン株式会社】			○	○		令和8年4月24日 (回答はこちら)	令和8年4月24日	○	○
ダイズ	除草剤グルホシネート、ジカンバ、アリルオキシアルカノエート系及びトリケトン系耐性ダイズ( <i>pat</i> , 改変 <i>dmo</i> , <i>ft.t.1</i> , <i>tdo</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.) (MON94313, OECD UI: MON-94313-8) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○				○	○
トウモロコシ	半矮性、除草剤グリホサート誘発性雄性不稔、除草剤グリホサート耐性及びチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ(改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>GA20ox SUP</i> , <i>cry1A.105</i> , 改変 <i>cry2Ab2</i> , 改変 <i>vip3A</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis) (MON87427 × MON94804 × MON89034 × MIR162 × NK603, OECD UI: MON-87427-7 × MON-94804-4 × MON-89034-3 × SYN-IR162-4 × MON-00603-6) 並びに当該トウモロコシの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○				○	○
トウモロコシ	半矮性、除草剤グリホサート誘発性雄性不稔、除草剤グリホサート耐性及びチョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ(改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>GA20ox SUP</i> , <i>cry1B.868</i> , 改変 <i>cry1Da</i> , 改変 <i>vip3A</i> , 改変 <i>cry3Bb1</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis) (MON87427 × MON94804 × MON95379 × MIR162 × MON88017, OECD UI: MON-87427-7 × MON-94804-4 × MON-95379-3 × SYN-IR162-4 × MON-88017-3) 並びに当該トウモロコシの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】		○	○	○				○	○
ワタ	除草剤グリホサート、グルホシネート、ジカンバ、トリケトン系及びプロトポルフィリノーゲン酸化酵素阻害型耐性ワタ(改変 <i>cp4 epsps</i> , <i>pat</i> , 改変 <i>dmo</i> , <i>tdo</i> , <i>H<sub>N</sub>90 PPO</i> , <i>Gossypium hirsutum</i> L.) (MON96012, OECD UI: MON-96012-6) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】	○							—	—
ダイズ	プロトポルフィリノーゲン酸化酵素阻害型除草剤耐性ダイズ( <i>H<sub>N</sub>90 PPO</i> , <i>Glycine max</i> (L.) Merr.) (MON94115, OECD UI: MON-94115-8) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】	○							—	—
トウモロコシ	チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ( <i>ipd083Cb.1</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Ittis) (COR121, OECD UI: COR-00121-4) 【コレテバ・アグリサイエンス日本株式会社】	○							—	—

注1:名称の( )内の「OECD UI」とは、OECD Unique Identifierのことであり、遺伝子組換え植物の安全性審査の単位としてOECDに登録されている識別記号のことです。

注2:名称の( )内の「OECD UI」の前に記述している英数字は、開発者による識別番号です。

注3:第一種使用等の内容の「食用」、「飼料用」とは、食用又は飼料用のための「輸入及び流通」について認められたものです。

注4:「(参考)他の安全性の確認状況」の欄は、食品衛生法に基づく食品としての安全性審査の手続を経たこと又は飼料安全法(飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律)に基づく飼料としての安全性の確認がなされたことを示すものです。「—」は未確認を示すものです。ただし、非食用又は非飼料用については「不要」を意味します。

参考1:承認した遺伝子組換え農作物に係る第一種使用規程承認申請書、生物多様性影響評価書の概要、学識経験者の意見等については、バイオセーフティクリアリングハウス(J-BCH)のLMO関連情報から検索できます。  
<https://www.biodic.go.jp/bch/lmo/OpenSearch.do>

参考2:これまでに承認した遺伝子組換え農作物のリストについては、こちらから御覧ください。  
<https://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/carta/torikumi/index.html#1>